

1. 科目名 (単位数)	障害児療育 (2単位)		3. 科目番号	SSMP2341 SNMP2341 SCMP2341 SBMP2341 SPMP2341 SJMP2119						
2. 授業担当教員	立松 英子									
4. 授業形態	講義、DVD視聴、演習	5. 開講学期	秋期							
6. 履修条件・他科目との関係										
7. 講義概要	<p>「療育」という用語は、狭義には障害の早期発見から就学までの取り組みの意味で使われ、広義には成人の生活支援も含み、医療・福祉・教育にまたがる分野で使われている。近年、明確な診断のない「気になる」子どもや被虐待児もその対象となり、ノーマライゼーションの理念の理解とともに発達や障害についての幅広い知識が必要となるばかりか、親支援や地域の子育て支援も保育士の重要な役割となっている。</p> <p>本科目では、知的障害、肢体不自由、視覚障害や聴覚障害、自閉スペクトラム症を含む発達障害や、診断はないが「気になる」子どもを対象に、年齢は乳幼児から成人まで、場所は一般の保育所のみならず、病院内保育、施設内保育等、幅広い視野で「療育」を捉え、保育士としての専門性を培う。</p>									
8. 学習目標	<p>インクルーシブ保育の場では、障害のある子どもやその子を支える家族の生活・心情をふまえた支援とともに、障害のない子どもへの配慮や共生社会の形成を念頭においた教育もできるようになる。また、専門機関においても、医療・福祉と連携しながら保育士としての専門性を発揮して、適切な支援ができるようになる。</p> <p>① 幅広い対象、場、形態に及ぶ「療育」の理念や概念について知る。 ② 障害に関する医療・社会福祉・教育の制度についての基礎知識が身に付く。 ③ 障害のある子どものいる家族の生活や心情について共感できるようになる。 ④ 定型発達についての基礎知識を基盤に、障害のある子どもの育ちに見通しをつけられるようになる。 ⑤ 様々な専門家の役割を知って、障害のある子どもや保護者を中心とした連携・協働ができるようになる。</p>									
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レポート課題：与えられた事例について、書式にしたがってレポートしてください。</li> <li>・小テスト：用語の理解について小テストを実施します。</li> <li>・期末レポート課題：事例についての論文課題：「あなたが考えるよりよい療育実践について、事例にもとづいて論説しなさい」障害児療育の基本的な考え方が身に付いたかどうかを確認します。</li> </ul>									
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】全国児童発達支援協議会 『新版 障害児通所支援ハンドブック 児童発達支援 保育所等訪問支援 放課後等デイサービス』エンパワメント研究所 2020。</p> <p>【参考書】療育活動の実際がわかる DVD や関連ウェブサイトを紹介します。</p>									
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 障害児者に関する自分なりの課題意識をもち、最新の理念を積極的に学んだか。</li> <li>2. 本人や家族への支援について正しい知識を身につけたか。</li> <li>3. 定型発達の順序性について理解し、実践場面で応用できるようになったか。</li> </ol> <p>○評定の方法</p> <p>以下を総合的に検討し、判断する。</p> <table border="0"> <tr> <td>1 授業態度</td> <td>総合点の40%</td> </tr> <tr> <td>2 小テスト</td> <td>総合点の20%</td> </tr> <tr> <td>3 課題レポート</td> <td>総合点の40%</td> </tr> </table> <p>*なお、本学規定の「3/4以上の出席」が単位修得の条件であることも判断規準となる。</p>				1 授業態度	総合点の40%	2 小テスト	総合点の20%	3 課題レポート	総合点の40%
1 授業態度	総合点の40%									
2 小テスト	総合点の20%									
3 課題レポート	総合点の40%									
12. 受講生へのメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通常の保育所や幼稚園で障害のある子どもの割合が増えているだけでなく、福祉や医療の現場でも保育士資格をもつ職員の需要が急速に高まっています。個々の子どもに適切な配慮ができるようになるためには、授業のみならず、機会を捉えて地域のボランティア活動や療育・教育活動に参加することをお勧めします。</li> <li>・授業中の私語、居眠り、携帯電話の操作、飲食等は禁止します。</li> <li>・休憩時間と授業の区別をしましょう。大学生として節度ある態度で授業に臨んでください。</li> </ul>									
13. オフィスアワー	別途通知する。									
14. 授業展開及び授業内容										
講義日程	授業内容	学習課題								
第1回	オリエンテーション 障害の理解①	事前学習	ワークシートの該当ページを読んで、授業で学ぶ内容を予習しておく。							
		事後学習	授業で明らかになった専門用語の意味について学習ノートにまとめておく。							
第2回	障害の理解② 子どもの生活を支える福祉や医療、各種法制度	事前学習	ワークシートの該当ページを読んで、授業で学ぶ内容を予習しておく。							
		事後学習	授業で明らかになった専門用語の意味について学習ノートにまとめておく。							
第3回	障害のある子の発達	事前学習	ワークシートの該当ページを読んで、授業で学ぶ内容を予習しておく。							
		事後学習	授業で明らかになった専門用語の意味について学習ノートにまとめておく。							
第4回	療育期における家庭への子育て支援	事前学習	ワークシートの該当ページを読んで、授業で学ぶ内容を予習しておく。							

		事後学習	親の障害受容とその変遷について重要点を学習ノートにまとめておく。
第5回	療育の種類、早期療育・相談事業	事前学習	ワークシートの該当ページを読んで、授業で学ぶ内容を予習しておく。
		事後学習	療育の種類、早期療育の重要性について自分なりにまとめておく。
第6回	地域における専門機関の役割とサービス	事前学習	ワークシートの該当ページを読んで、授業で学ぶ内容を予習しておく。
		事後学習	授業で明らかになった専門用語の意味について学習ノートにまとめておく。
第7回	発達及び障害に関する用語の理解	事前学習	ワークシートの該当ページを読んで、授業で学ぶ内容を予習しておく。
		事後学習	小テストに向けて用語の確認をする。
第8回	小テスト	事前学習	用語の関連事項についてWEBで調べ、理解を深めておく。
		事後学習	解答できなかった用語について復習をする。
第9回	グループ演習1, 2 知的障害を伴う子ども保育援助	事前学習	ワークシートの該当ページを読んで、授業で学ぶ内容を予習しておく。
		事後学習	授業で明らかになった専門用語の意味について学習ノートにまとめておく。
第10回	グループ演習3, 4 自閉スペクトラム症を伴う子どもと保育援助	事前学習	ワークシートの該当ページを読んで、授業で学ぶ内容を予習しておく。
		事後学習	授業で明らかになった専門用語の意味について学習ノートにまとめておく。
第11回	グループ演習5, 6 肢体不自由や重症心身障害を伴う子どもと保育援助	事前学習	ワークシートの該当ページを読んで、授業で学ぶ内容を予習しておく。
		事後学習	授業で明らかになった専門用語の意味について学習ノートにまとめておく。
第12回	グループ演習7, 8 視覚障害・聴覚障害を伴う子どもと保育援助	事前学習	ワークシートの該当ページを読んで、授業で学ぶ内容を予習しておく。
		事後学習	授業で明らかになった専門用語の意味について学習ノートにまとめておく。
第13回	「気になる子」と保育援助	事前学習	ワークシートの該当ページを読んで、授業で学ぶ内容を予習しておく。
		事後学習	授業で明らかになった専門用語の意味について学習ノートにまとめておく。
第14回	就学への移行と特別支援教育	事前学習	ワークシートの該当ページを読んで、授業で学ぶ内容を予習しておく。
		事後学習	全ワークシートを振り返り、専門用語の意味などを確認しておく。
第15回	論文課題「あなたが考えるよりよい療育実践について、事例にもとづいて論説しなさい」	事前学習	学んだことを振り返り、時間内に論文課題を終えられるよう考えをまとめておく。
		事後学習	授業全体を振り返り、理念や社会的意義を踏まえて障害児療育全般について振り返る。
15. 実務経験を有する 教員特記事項	養護学校（現 特別支援学校）での教諭経験を活かし、「7」に示す講義概要に則した講義を行う。		